

# 犬山城の沿革

犬山城は織田信長の叔父である織田信康が天文6年(1537)に木ノ下城を移して築城したと伝えられています。

このち江戸時代初期にかけて城主はめまぐるしく入れ替わりました。

天正12年(1584)の小牧・長久手の戦いの際には、緒戦で羽柴(豊臣)秀吉方の池田恒興の急襲を受け、羽柴軍と織田信雄・徳川家康連合軍が尾張に集結するきっかけとなりました。秀吉は大軍を率いてこの城に入った後、楽田城に移り、小牧山に陣をしいた徳川家康と対峙しました。

明治維新後に犬山城は廃城となり、天守を除いて櫓や門の大部分は取り壊され公園となりました。

明治24年(1891)の濃尾地震で天守は大きな被害に見舞われました。同28年、愛知県から修復を条件に旧城主である成瀬氏に譲渡され、多くの市民からの義援金により修復工事がおこなわれました。その後、昭和34年(1959)の伊勢湾台風などで天守の破損が激しくなったため、全面的な解体修理工事がおこなわれました。

天守は昭和10年(1935)に国宝に指定され、同27年規則改正にともない再指定されました。天守の創建年代はいくつかの説がありますが、令和元年(2019)から同2年にかけて、年輪年代法による年代測定調査を行うとともに、建物全体の変遷過程などについて詳細に調査した結果、天守は天正13年(1585)～同18年頃にかけて、1階から4階までが一連で建設されたと見られ、現存する天守の中では最も古いと言われています。天守の建つ本丸を含め、城跡は平成30年(2018)2月13日に国の史跡に指定されました。

現在、犬山城天守は公益財団法人犬山城白帝文庫の所有となり、犬山市が管理をおこなっています。

## お問い合わせ

犬山 城 管理 事務所 TEL.0568-61-1711

〒484-0082 犬山市大字犬山字北古券65番地2

公益財団法人

犬山 城 白 帝 文 庫 TEL.0568-62-4700

〒484-0082 犬山市大字犬山字北古券8



国宝  
犬山城  
別名 白帝城



National Treasure  
Inuyama Castle

記念スタンプ・メモとしてお使いください

## ようこそ

慶長12年(1607)、徳川家康の9男義直が尾張へ移封されると成瀬正成はその傳役となります。まだ幼い義直にかわって、尾張藩政を委ねられていた平岩親吉が同16年に死去し、その翌年から正成は竹腰正信とともに尾張藩の付家老として政務に携わりました。そして、元和3年(1617)に正成が2代将軍徳川秀忠から犬山城を拝領して以後は幕末まで、成瀬家が城主と尾張藩付家老を務めました。

明治24年(1891)の濃尾地震をきっかけに再び成瀬氏が天守の所有者となり平成16年(2004)までの長きにわたり個人所有の城として知られてきました。

公益財団法人犬山城白帝文庫は、国宝犬山城天守および旧犬山城主成瀬家伝来の古文書・美術工芸品等を調査研究・保存・公開し、犬山の文化発展に寄与することを目的として平成16年4月に設立されました。



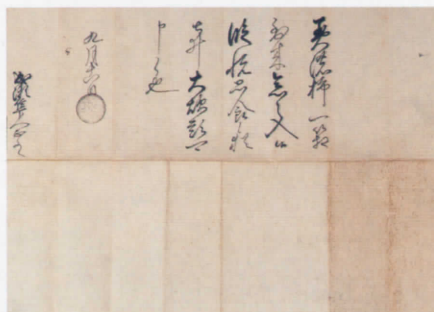
小牧・長久手合戦図 江戸時代



黒塗菊桐時絵鍔櫃 桃山時代



白熊毛兜 江戸時代



徳川秀忠御内書 江戸時代

犬山城白帝文庫歴史文化館は犬山市文化史料館の中にあり、所蔵資料を常設展示するとともに年2回、企画展・特別展をおこなっています。

## 天守の構造の概要

総延面積 698.775㎡

天守の形式 望楼型

外 観

- ◇ 3重 高さ18.793m
- 内部4階
- 地下2階(石垣の中)



1 階

◇ 282.752㎡

中央部は4室に区画されており、その周囲には2間幅の武者走(通路)がめぐります。上段の間は床が7寸高く畳敷で、室内には床や棚などが設けられています。昭和の解体修理で、明治24年(1891)の濃尾震災により破損したという南東隅の付櫓(15.225㎡)と北西隅の石落としの間(7.174㎡)を復元しました。



2 階

◇ 246.006㎡

中央に武具の間があり、東・西・北の3方に武具棚を設けています。解体修理で発見された墨書銘から延宝3年(1675)に棚が設置されたことがわかりました。

3 階

◇ 81.936㎡

入母屋屋根の中に位置します。東西に入母屋破風、南北には唐破風が設けられています。



4 階

◇ 49.835㎡

高欄の間の4方には約半間の廻縁がめぐり、高欄の間の南北に出入口があります。出入口の左右には装飾化した花頭窓が配置されています。



天守の石垣

石垣の高さは約5mで、自然石をほとんど加工しないで積み上げた野面積みという工法です。



①尾張富士

本宮山

②犬山市文化史料館

テレビ塔

JRセントラル  
タワーズ

③小牧山城



有楽苑  
(国史跡皇妃庵)

成田川

⑩東之宮古墳

⑧日本モンキー  
センター

⑧日本モンキー  
パーク

⑦鶴飼乗船場

木山橋  
(ひんがし橋)

⑥御嶽山



①尾張富士(275.0m)  
尾張3大奇祭のひとつに数えられる石上げ祭が毎年8月の第1日曜日におこなわれます。

**町並み**  
城下町として栄えた犬山の町には、江戸時代の面影を残す町並みをみることができます。



②犬山市文化史料館  
犬山城のジオラマや犬山祭のからくりなどが展示されています。また、犬山城白帝文庫歴史文化館が併設され、旧城主成瀬家伝来の資料を常設展示しています。

③小牧山城  
織田信長が桶狭間合戦の後、美濃攻略のために築いた城。小牧・長久手の戦いの際には、徳川家康の本陣がおかれ、羽柴(豊臣)秀吉と対峙しました。

④伊木山(173.1m)  
山頂付近には戦国時代の山城である伊木山城跡があります。また、「夕暮れ富士」とも呼ばれ親しまれています。

⑤岐阜城  
金華山(きんかざん)山頂に位置する城。戦国時代には斎藤道三や織田信長が居城とし、天下統一の野望を膨らませていました。



⑥御嶽山(3,067m)

古来より信仰を集めてきた霊峰です。“木曾のおんたけさん”として崇拝されています。

⑦鶴飼乗船場

鶴飼は、美濃国では702年(大宝2年)の各務郡中里の戸籍「鶴養部目都良売(うかいべめづらめ)」の記述が最も古い資料です。この資料から木曾川うかいの起源は、今より1300年以上前と考えられています。犬山では、元和4年(1618)に初代尾張藩主徳川義直が鶴飼を見たという記録があり、万治3年(1660)頃、3代犬山城主成瀬正親の時に本格化したといわれています。



⑧日本モンキーパーク

楽しい乗り物がいっぱいの遊園地があります。

⑨日本モンキーセンター

世界一の種類を誇るサル類動物園があります。

⑩東之宮古墳

3世紀終わりから4世紀初め頃につくられた、全長72mの前方後方墳です。発掘調査の結果、銅鏡や石製品などの豊富な副葬品が出土しました。



⑤御嶽山

⑧日本モンキー  
パーク

⑩東之宮古墳